

第893号

令和5年7月14日

佐渡市立金井小学校

佐渡ことば・こころの教室

教室だより

学ぶ楽しさ



佐渡市立真野小学校
校長 森 和人

今年度から、真野小学校に通級指導教室が開設されましたことに大変感謝しております。教室は校長室の隣に位置しています。通級指導教室での時間を楽しみにして来る子どもの笑顔を見たり、指導者と楽しそうに学びかかわる声が聞こえたりします。きっと、子どもたちのニーズに沿った内容と方法で学習が行われているものと思います。



そもそも、子どもたちにとって「分かった」「できた」は喜びであり、その過程は楽しいと感じるものでしょう。逆に「分からなさ」を継続して感じてしまうと、学ぶ時間が苦痛になってしまいます。そのような子どもを出さないように、通常の学級においても個に応じた指導方法・教材等の提供や学習活動など、個別最適な学びの充実が求められています。友達と協働で学ぶ場と合わせて、「分かった」という喜びを味わわせ、学ぶ楽しさを実感させていきたいものです。



ことば・こころ 真野小教室 始動！



令和5年4月、真野小学校に「ことば・こころの教室」が新設されました。1対1の個別学習が基本ですが、お子さんの必要に応じてグループ学習も取り入れています。広い教室を区切って“学習スペース”と“お楽しみスペース”を作りました。



学習スペースは、落ち着いた雰囲気の寒色系で統一し、集中して学習することができます。佐渡市の委託料から教材を購入させていただきました。お楽しみスペースには親の会会費で買わせていただいた人気のおもちゃや真野小の特別支援学級で使わなくなった遊具などを備えています。遊びながら会話ややり取りが弾む楽しい空間になりました。



以前、担当のお子さんから「いつも笑わせてくれてありがとう」という言葉をもらったことがあります。これは、私にとって宝物のような言葉です。真野小学校でも、ことば・こころの教室に来てくれたお子さんが、笑顔で過ごし、笑顔で自分の教室に戻ることができるよう、日々の活動を考えていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。 (香遠 直子)

「あれ？」と感じたら一緒にやってみる

友人の親から頼まれ、悩みを聞いて欲しいというので会った女子大生。リュックサックがお尻まで下がっていることに違和感があったので聞いてみると、紐の長さが調節できることを知りませんでした。すごい重さの荷物の中には、お気に入りのCDとプレーヤーが入っています。紐の調節の仕方とともに、荷物を自分の予定に合わせ精選する必要性を伝えました。

ほとんどの人は、製品の形を見てその製品がどのように使われるべきか予想ができるので、親は自分の子どもも「いつか自然とできるようになる」と信じてしまいがちです。しかし、他者から教えられることで初めて気付くことも私たちの身の回りにはたくさんあると、しみじみ感じました。

自然とできるようになるかもしれないけれど、できていないこと。子どもたちの様子を見て「あれ？」と感じたことは、一緒に練習しようと思っています。



第1回学習会が開催されました

6月24日（土）、「思いどおりにならない子育てへの専門家からのエール」と題した講演会が行われました。約70名近くの方にご参加いただきました。

発達段階に応じた子育ての寄り添い方や進路に至るまで、子どもの現在から未来までを見据えたお話で大変貴重な学びの機会となりました。参加者の感想の一部です。

ずっと1人で抱え込んできたので、今まで本当にうつらかったです。今日参加でき、お話を聞くことが出来、心から感謝しております。ありがとうございました。



親の会コーナー



保護者の声



小学生保護者

小学校に入学し、発音の指導からお世話になっていた教室での学習も、3年目を迎えようとしています。今年度からは、息子の通う小学校に通級教室が新設されることとなりました。今までとは、金井小学校まで一緒に通い、息子の頑張りや成長を間近で感じられる事が、新たな発見と楽しみでもありました。今年からは1人で通うという事に初めは少しの不安を感じていました。しかし、校内で友達と一緒に通う様子を、息子や先生から聞いていく内、身近な場所での支援のありがたさを強く実感するようになりました。まだまだ甘えん坊の息子ですが、親から離れ頑張る『成長の一歩』として、今後も応援していきたいと思います。頑張れ！息子よ！

第1回運営会議が開かれました

6月12日（月）に第1回運営会議が開かれ、昨年度の報告と今年度の教室運営について審議が行われました。ご意見を今後の教室運営に活かしていきます。

夏季言語検査・情報交換会を行います

7月後半から、保育園・幼稚園・こども園の年長児を対象とした夏季言語検査と、通級児童生徒の在籍校担任との情報交換会を行います。よろしくお願ひいたします。

